第 18回 公 安 委 員 会 定 例 会 開 催 状 況

1　開催日時

令和８年７月16日（木）13時30分～16時５分

2　決裁事項

⑴　免許の取消し等

警察本部から、免許の取消し等について報告を受け、決裁した。

⑵　審査請求の裁決

警察本部から、審査請求の裁決について報告を受け、決裁した。

⑶　特例施設占有者の指定等に関する規則の一部改正

警察本部から、特例施設占有者の指定等に関する規則の一部改正について報告を受け、決裁した。

⑷　苦情の調査結果

警察本部から、苦情の調査結果について報告を受け、決裁した。

⑸　苦情の調査結果

警察本部から、苦情の調査結果について報告を受け、決裁した。

3　報告事項

⑴　警察部外功労者表彰（警察協力章）被表彰者の決定

警察本部から

○　本彰は、長期にわたって警察に協力し、多くの功労があった警察部外の方に対して警察庁長官が行う表彰である。

○　被表彰者は、岡山県瀬戸内市在住の竹内宣昭氏である。

○　竹内氏は、岡山県警察協力医会の発足と同時に同会に加入し、35年余にわたって昼夜を問わず検案業務に尽力してこられ、長期にわたり警察活動に多大な協力をいただいた。

○　伝達式は令和８年８月20日に警察本部長室において行う。

旨の報告を受けた。

委員が、

「35年にわたり、昼夜を問わず検案業務に尽力いただいたことに感謝申し上げるとともに、今回警察協力章を受章されたことにお祝い申し上げる。今後とも健康に留意され、検案業務に御協力いただけるよう、さらにお願いしたい。」

旨を発言した。

⑵　高校生対象の防犯ボランティア体験事業の実施

警察本部から

○　若い世代による防犯ボランティア活動への参加促進を図るため、時代を担う高校生を対象として、夏季及び冬季の２回に分けて防犯ボランティアの体験事業を実施するもの。

○　募集期間は５月27日から７月３日で、県内87校の高等学校に募集要項を送付し、22校、68人から応募を受けた。

○　日時は、令和８年８月５日（水）、６日（木）午前９時30分から午後３時までの間

○　場所は、岡山県警察本部とイオンモール岡山

○　冬季も岡山市内において開催予定である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「警察業務が多くの方々の協力の上に成り立っていることを伝える絶好の機会であり、防犯や対策などを周知することができるとともに、参加者の体験談を通じて、さらに応募者を増加させることが期待できる取組みである。」

「ボランティアは参加する子供の人間形成に重要なものであり、非常に良い取組であるものの、体験時間の不足が懸念されるため、真に効果のある取組をお願いしたい。」

旨を発言した。

⑶　令和８年上半期の110番受理及び初動警察活動実施状況

警察本部から

○　令和８年上半期の110番通報受理件数は97,856件で、前年同期比6,322件増加となっている。

○　有効事案は86.5%、非有効事案は13.5%となっており、１日平均約541件の受理件数となる。

○　非有効事案に占める割合は、間違い電話が37%、いたずらが35%、無応答が20%、通報テストが６%、試験連絡が２%となっている。

○　緊急配備の実施は18件、初動活動の実施は101件であり、いずれも前年同期より増加している。

○　主な検挙事例として、緊急配備は万引き犯が逃走時に車両で店員を轢過した事後強盗事件で発令し、被疑者を発見、通常逮捕した事案で、初動活動は寺院被害の窃盗事件で発令し、航空隊員が車両を発見して機動捜査隊員等が停止・職務質問の上、緊急逮捕した事案がある。

○　110番映像通報システムの受理は110件で、前年同期比34件減少である。

○　主な活用事例は、あおり運転事案の行為者の着衣等が直前に発生した不同意わいせつ事件容疑者の特徴と一致したため、あおり運転通報者から行為車両の画像の提供を受けて手配を行い、車両を発見し、酒気帯び運転、不同意わいせつで逮捕したものである。

○　110番通報支援カメラの活用は260件で、前年同期比323件減少している。

○　主な活用事例は、持凶器強盗事件で、認知直後に現場付近の110番通報支援

カメラの録画映像により、被疑者の姿を確認し、逃走方向等を特定の上、通常逮捕したもの。

旨の報告を受けた。

委員が、

「非有効事案の増加は憂慮すべき事項である。住民に対し、犯罪行為であることの周知を行うことが重要である。」

「110番映像通報システムは有効なものと考える。住民に対し、システムの存在や操作方法を周知して、活用に繋げていただきたい。」

旨を発言した。

⑷　解体予定施設を活用した災害警備訓練の実施

警察本部から

○　７月22日及び23日、笠岡市内にある解体予定の大型商業施設を活用して、広域緊急援助隊や警察署員が参加し、大規模災害で崩落した建物内から被災者を救助するなどの想定で、実践的な災害警備訓練を実施予定である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「解体予定の施設という本番に近い環境で訓練ができれば、実力向上に役立つ。」

「参加者が受傷したり、体調不良にならないよう配意しながら訓練していただきたい。」

旨を発言した。

⑸　内部公益通報の外部受付窓口の設置検討

警察本部から、内部公益通報の外部受付窓口の設置検討について報告を受けた。

４　次回公安委員会

令和８年７月23日（木）13時30分から開催予定